令和4年度(令和3年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

福祉部高齢介護課

福祉部長 竹部 益世

整理No	主要事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
17-1	介護予防・生活支援サービス事業	なし	B	訪問型サービスA（介護専門職型）、サービスB（生活支援型・地域支え合い型）について、利用者数が伸び悩んでいる。また、地域にある活動主体が高齢化し、次世代の人材不足も大きな課題となっている。	改善 推進	訪問型サービスB（生活支援型）の支援内容を拡充し、生活支援コーディネーターを中心に人材育成を行い、利用者、支援者ともに増加を目指す。引き続き、地域にある多様な主体による介護予防の推進と生活支援を構築する。
17-2	老人ホーム入所事業	あり	B	入所判定委員会における審査票を措置基準の項目に合わせた様式に改定したことで、措置の要否判定が明確となり、スムーズに判定を行うことができた。また、施設職員と密に連絡を取り合うことで、個別ケースの共有や課題の検討等の対応を迅速に行うことができた。	現状 維持	高齢者人口が増加する中で、入所の検討が必要なケースも増加すると思われるが、老人福祉法に則り、真に措置が必要な高齢者を判断し適切に事業運用を行っていく。
17-3	長寿訪問等事業	あり	B	「長寿祝金」については、高齢化に伴う対象者の増加等により対象年齢の見直しを行い、数え99歳（白寿）への祝金を廃止した。また、祝金の贈呈方法を口座振込等に変更したことでコロナ禍においても安全にお渡しすることができた。「ブラチナ婚・ダイヤモンド婚・金婚を祝う会」についても、安易に式典を中止とせず、規模を縮小しつつ実施することができた。今後も高齢化の進展やコロナ禍における事業の実施方法等を検討していく必要がある。	合理 化	平均寿命の延伸から「長寿祝金」の対象者の見直しを行う。数え88歳（米寿）については、健康寿命の延伸に貢献している方を「健康祝事業」にてお祝いする。 「ブラチナ婚・ダイヤモンド婚・金婚を祝う会」の式典での写真撮影に代え、記念品として写真クーポン券を贈呈することで、新型コロナ感染症対策の一つとする。
課等長	1次評価（令和3年度の総括評価）					
B	<p>新型コロナウイルスの感染が拡大する中、長寿訪問等事業の実施方法を適切に見直したことで目標を達成することができた。</p> <p>介護サービス給付費等については、コロナ禍において人員配置等の基準緩和がされているが、各種点検によるチェックの他、事業所の実地指導により適正な給付となるよう努めた。財源となる介護保険料については、前年度と同様にコロナ減免を実施する一方で、収納課を中心とした収納向上対策に取り組み、適正に賦課・徴収事務を行うことができた。</p> <p>介護予防・生活支援サービス費は、新型コロナウイルスの影響もあり利用者数が伸び悩んでいる。担い手不足も課題となっているが、引き続きサービスを利用しやすい環境整備を進めたい。</p>					
部等長	2次評価（令和3年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）					
B	<p>介護保険サービスについては、高齢者人口の増加に伴い、年々保険給付額が増加するとともに、担い手の不足が問題となってきている。そのため、地域にある多様な主体による介護予防の推進を進め、給付費の抑制・担い手の確保に取り組む必要がある。</p> <p>また、コロナウイルス感染症が拡大するなか、介護保険事業や長寿訪問等事業について、実施方法等を見直すことで適切に事業を実施することができた。超高齢化に伴う多様な高齢者ニーズや課題に対応するため、今後も事業内容を見直し、効果的な事業運営を図ること。</p>					